

## 九州大谷真宗研究所 第3回 教化講習会

2011年3月29日(火)～31日(木)の2泊3日の日程で、教化講習会(第3回)が行われました。今回は、三明智彰所長の聖典講座に加え、古田和弘先生(本学名誉学長)による特別講義のほか、木屋行深講師の課題別講義、福祉学科の野口治子講師のコミュニケーション講座などを受講しました。

古田先生は「講習生に望むこと」の講題で、教化の主体は誰なのか、また教化の対象は誰なのかという問いを大切に、如来の教えに依り、自分自身が 変えられて行くことが他の人をも化するという事など教化の意義について講義をされました。

また、木屋先生は「非戦」をテーマに靖国の問題や沖縄の問題が私たちに問いかけてくることを身近なところから話されました。

野口先生は、自身の経験をもとに現在の介護の問題や、介護が仏教精神の実践であると講義をされました。

それぞれの講義の後には、座談が行われました。

また、今回は2回目の法話実習も実施され、講習生は、それぞれにテーマを持って法話にのぞみました。

教化の現場に生きる力を養成することを目指す共同学習が行われました。次回は8月22日からです。

